



若竹だよい



- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

夏の成長

園長 宮竹 恒

今年は、コロナの感染予防と熱中症予防に気を配る必要があり、子どもたちにとっては、少し不自由な夏休みであったかもしれません。

与えられた環境の中、子どもたちの適応力は逞しく、元気に生活出来ていることが何より有難いと思います。

分校増築工事が着々と進む中、狭くなった園庭で工夫をしてスポーツに取り組む子どもがいます。出勤すると最初に挨拶するのは、園庭でサッカーのドリブル練習をしている子どもたちです。

日中、時間を決めて屋上運動場でフットサルを毎日のように行っていますが、自主的にクラブ活動をしているかのようです。職員も一緒に毎日たくさんの汗を流しています。

スポーツだけでなく、学習も頑張っています。特に中3生は、7月21日～8月3日の午前中、補習授業に参加し個々の課題に取り組みました。中1、中2の希望者も参加し自主的に学習に励みました。

中3生にとっては、高校のオープンスクールに参加したことも大きな経験になりました。

学園全体としては、園内で出来る活動を工夫し、普段は出来ない小グループでの活動を行いました。

活動には子ども同士の話し合いが必要なこともあります。時には、上手くいかないこと

もありますが、それも大切な成長のきっかけになっていました。

一夏を終え、子どもたちは、心も体も一回り成長しています。

新学期に新たな目標を持って元気にスタートが出来ることと思います。 一了一

「夏の一コマ」



日本舞踊の先生が浴衣としゃぼん玉を準備して下さいました。午後の一時、虹色のしゃぼん玉を楽しみました。

<分校増築工事の進捗状況>

令和5年2月竣工に向け順調に工事が進んでいます。



8月24日撮影



前年度に引き続き、グループ活動として心理職員が料理作りを企画しました。

職員と一緒に好きなメニューを考え、楽しく料理を作りました。メニューの話をしていくと、子どもたちから色々なアイデアがでてきて、楽しみな気持ちが伝わってきました。

事前準備で食器を洗ったり並べたりしていると、積極的に手伝ってくれ、ありがたかったです。

Aグループ 焼きそば たこ焼き アイスクリーム

屋台の職人さんのような風格で焼きそばを調理している子もいました。

タコ焼きを作る時に、ひっくり返すのが楽しいのか、80個ほどできてしまい、完食できるか不安でしたが、美味しく食べ切ることができました。お腹いっぱいかなと思ったのですが、別腹なのかその後のデザートもぺろりと食べていました。



Bグループ ホットドッグ クレープ



子どもたちは、クレープ作りが初めてなので上手く作れるか少しだけ不安な気持ちがありましたが、上手に作ることができ、達成感に満ちた表情をしていました。

生クリームやイチゴジャムなどトッピングも考えて作っているような感じでした。

余った材料を使ってお好み焼きのような物を作りました。ねぎをトッピングすると、美味しさが増しており、驚いた表情をしていました。今度はねぎを混ぜて焼いてタレなどを加えて食べてみたいねと、次回に期待を寄せており、一緒に嬉しい気持ちになりました。

Cグループ カレー・ケーキ



Cグループでは何を作るか決める時に、多くの案が出てきて、メニューを決めるのに悩みました。最終的にはカレーに決まり、その上にトッピングでチキンカツとエビフライをのせることにしました。手の平ほどの大きさのカツをなんとか完食して、デザートケーキも食べていました。お腹一杯とは言いながらも笑顔が多く見られたので、子どもたちにとって楽しい経験になったのではないのでしょうか。

夏といえぼすいか！！



夏恒例スイカ割りを学園でも行いました。目隠しをして、棒を握ってグルグル10回回ります。フラフラになりながらスイカ目指してレッツゴー。



仲間に声を掛けてもらいながらスイカまで無事たどりつけました。後はスイカ目掛けて力いっぱい棒を振りかざします。

残念ながらスイカを割ることは出来ませんが、全員で協力して声を掛けあい笑顔いっぱい、楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後はスイカを切って、みんなで美味しく頂きました。また一つ子どもたちに温かい夏の思い出が増えたのではないのでしょうか。

フルーツポンチ



前回のおやつ作りで作った豆腐団子と、頂いたスイカ、パイナップルにみかんの缶詰を入れてフルーツポンチを作りました。

まず、スイカの中身をくりぬきました。顔よりも大きなスイカだったので、子ども達は苦戦しながらも綺麗にくりぬいていました。



次に、パイナップルを一口サイズに切りました。パイナップルの皮は硬かったのですが、協力しながら切りました。大きすぎず、丁度良いサイズに切る事ができました。

最後に、みかんの缶詰とシロップをスイカやパイナップル、豆腐団子と混ぜ合わせて、スイカの器に盛りつけて完成しました出来上がったフルーツポンチを「すごく美味しいね。」と言いながら、笑顔でほおぼっていました。



8月1日香川県熱中症警戒アラート発表！外遊びは出来ません。コロナ感染もあり、人込みは避けないといけません。こういう時は

海水浴に限ると計画するも子どもからは、「海ばかり…」と声が出ます。そこで、新しい遊び場所をドライブしながら探しに行くことになりました。

まずは塩江の川に行ってみました。川の深さは、子ども達の膝程度のところが多く、海ではあまり楽しめなかった子どもも積極的に入水！子ども達の口から自然と、「気持ち良い！」「夏だ～」という声が聞こえてきました。学園にいるだけでは聞けない声に、一緒に来られてよかったと感じました。



その後、近くにある虹の滝にも行ってみました。滝の近くの水は先に行った川よりもずっと冷たく、子どもたちも驚いていました。



最後は、内場ダムにいきました。多くの子ども達がダムを見るのは初めてで、川や滝と違って遊べる場所はありませんが、「デカイ」「どうやって登るん」と思い思いに感じたことを口にしていました。ダムを見るだけでも、一人一人感じることも違い、自然に会話が生まれ、良い体験になっていました。

今回は、新しい遊び場所を探す目的だったため、それぞれの場所での時間はかなり短か

ったのですが、帰りの車内で「川いいなあ」「遠いけどここならええわ」と話している子どももいました。

また時間を作って、暑いうちに遊びに行けたらいいなと思います。

8月行事

1日	川遊び	2日	海水浴
3日	少年自然の家 おやつづくり	8日	峰山公園



在籍人数

令和4年9月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	0	2
中学生	7	1	8
合計	9	1	10

ご寄付ありがとうございます。

光福寺 三村契一様 現金
津田 卓様 ケーキ沢山
明治安田生命様 タオル沢山
たまや様 日用品等沢山

 **編集後記** 夏休み中、本当に 

暑かったですが、子ども達と川遊びやスイカ割りなどをして、夏を満喫することができました。 小田



第341発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

